

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣研究報告書

2010年9月30日

派遣者氏名（専門分野）	山本 一（東洋史学）
-------------	------------

下記のとおり報告します。

記

研究テーマ	中国 明清民国時代の地方政治について —清末地方督撫専権を中心に—
-------	-----------------------------------

派遣期間

2010年7月26日～2010年8月9日

訪問研究機関	国	都市	訪問機関	受入研究者
	中国（台湾）	台北	国家図書館	なし
	中国（台湾）	台北	中央研究院 近代史研究所	巫仁恕副研究員、陳慈玉研究員

派遣先で実施した研究内容

今回の派遣の目的は、自身の研究に関する資料調査・収集であった。台北の国家図書館に所蔵されている清代中国末期の官僚や知識人が残した日記史料、中でも王秉恩という人物の『王雪澂日記』は非常に貴重な史料と考えられ、その閲覧と収集が台湾派遣期間中の主課題であった。中国近代史において、このような日記史料は十分に活用されていないのが現状である。清末には地方大官の元に、「幕僚」という官僚を実務的に補佐する人物が多数集められていたが、王秉恩はこの幕僚のひとりと考えられる。幕僚の実態についてはまだ不明な部分も多く、また彼らの日記資料は現存数が少ない。よって当該資料の収集を派遣の第一目的とした。結果を先に述べると、当初の想定以上の成果を得ることができたと考えられる。以下、国家図書館と中央研究院の調査地点2点に分けて報告する。

まず、国家図書館における調査であるが、主課題であった王秉恩『王雪澂日記』は問題なく閲覧することが可能であった。当該資料は善本書室での手続きを経て、閲覧をするのであるが、原本を閲覧・複写することは許されなかった。しかしその複製がマイクロフィルムで保存されており、専用のマイクロリーダーで閲覧し、プリントアウトをすることができた。また、同じ王秉恩が著した「疆敷宦雜著」なる文集もマイクロフィルムで保存されていることを発見し、同様に閲覧・複写が可能であった。この資料は他には収められていない政治的公文書や私信が含まれ、貴重な資料といえよう。

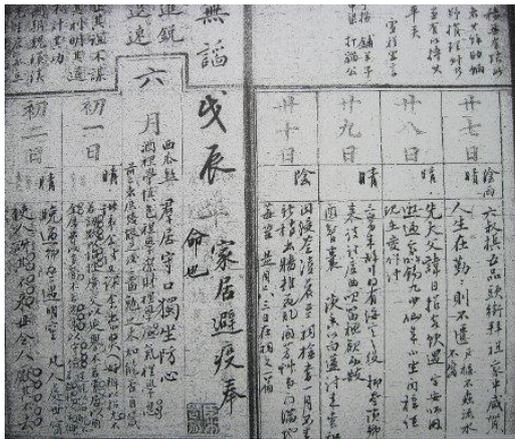
次に中央研究院近代史研究所での活動についてであるが、まず事前に片山剛教授を通して連絡をしていた巫仁恕副研究員と陳慈玉研究員を訪問した。そして巫研究員から中央研究院近代史研究所の档案館（歴史文書館）についてレクチャーを受け、実際に档案を閲覧した。この閲覧方法について、詳しくは別紙（OVCプログラム派遣先機関等利用マニュアル）に譲るが、インターネットを通じて档案の写真画像ファイルに世界中からアクセス可能である。ここでは自身の研究に関する档案で、他の文献に引用されているものの、その現物を発見できていなかった文書を目にすることができた。

以上のように、当初予定していた日記資料の収集のみならず、関連資料の発見など充実した調査活動を行うことができた。

裏面に続く



下右…中央研究院、近代史研究所  
 下左…王秉恩の日記の画像  
 上右…国家図書館、善本書室  
 上左…国家図書館、正面玄関



### 研究の当初の目的・計画の達成状況、明らかにできた成果

研究の当初の目的・計画は、本派遣を通して調査・収集した資料を分析し、幕僚や「局所」（幕僚の多くが職を得ていた「半公半私」的的地方政治部署）に対する精緻な検討を通して、清末の地方政治において地方大官が専権を握っていたとされる状況の実態を明らかにすることであった。さらに、そのような清末の状況を明清民国各時代の地方政治と比較検討することにより、中央集権専制王朝からその解体時期における地方政治を通時代的に理解することを企図している。

現在日記資料を分析中であるが、具体的には、一定期間に日記中にあらわれる地名をピックアップして集計し、当時の地図にプロットするという作業を進行中である。王秉恩が幕僚であったある時期においては、彼は都市内の非常に限られた地域で政務に従事しており、また与えられた政務によってその多忙さに違いがあることが浮かび上がってきている。

今後は以上のような統計資料といった数的データとともに、日記中に書かれる詳細な記述に考察を加え、前近代から近代にかけての中国地方政治の新たな歴史像を構築したいと考えている。

### 派遣後の研究発表の予定

2010年8月末現在、今回の派遣結果をふまえて、以下のふたつの研究会において研究報告を予定している。①海域アジア史研究会 10月例会（2010年10月上旬、於大阪大学豊中キャンパス）、②上海交通大学研究交流セミナー（2010年10月下旬、於上海交通大学、中国語）。

また、上記の研究報告をふまえ、今回の調査で得た結果を早期に文章化したいと考えている。